

平成 25 年 3 月 29 日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

代表取締役社長 岡田 栄二

(コード番号:3390)

問合せ先 広報・IR部

電話番号 03-6892-3864

子会社の異動（株式の取得）に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 3 月 29 日開催の取締役会において、株式会社ビューティーホールディングス（本店所在地：東京都豊島区、代表取締役：縣 将貴、以下「ビューティーHD」）ならびに株式会社ベストリザーブ（本店所在地：大阪府中央区、代表取締役：真玉 寿人、以下「ベストリザーブ」）の株式を取得し、同社を子会社化（以下「本子会社化」）することを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式の取得理由

当社は、昨年より取り組んできた既存事業の選択と集中により、損益面の改善が徐々に成果を見せ始めており、業績の回復に一定の目途がついた次なる段階として、新たな領域での事業基盤の拡充によって、事業収益力の確保を目指しております。

ビューティーHDは、美容ポータルサイトや、ヘアサロン検索予約サイト「かみまど」などを企画・運営する株式会社アップヒルズを傘下に持ち、ビューティー業界に対する様々なソリューションを提供しており、美容業界におけるITを活用したサービスを提供することで、美容業界における積極的なマーケット戦略に注力しております。

またベストリザーブは、会員数約 200 万人、加盟宿泊施設数約 9,000 件を有する宿泊予約サイト「ベストリザーブ・宿ぶらざ」を運営しており、ビジネスホテルをはじめとした国内ホテルの予約や、ビジネスホテルのマーケティング情報を調査できるソリューションシステムを提供しております。

一方、当社は、システム開発や運営において強みを持っており、主に飲食業界向けのスマートフォン・タブレット端末を活用したサービスの開発・販売を中心に、お客様である飲食店の集客から予約受付、売上・店舗管理から決済サービスまでをサポートできるシステム事業を展開しております。しかし、競合他社が多く競争の激しい飲食事業において競争力となるノウハウの強化育成や、必ずしも飲食事業のみに依存しない収益基盤の構築のため、新たな事業領域の開拓が必要不可欠であるとの方針から、この度、本子会社化を決定いたしました。

今回子会社化する2社の事業分野である美容事業とホテル事業は、店舗施設における集客をビジネスモデルとする点で飲食事業との共通点も多く、集客・予約サービスといった面で、相互のノウハウやリソースを活用できるなど事業シナジーが期待できるものと考えております。

加えて、平成 24 年 12 月 6 日にお知らせしている「簡易株式交換による日本企業開発支援株式会社の完全子会社化に関するお知らせ」にて開示のとおり、子会社となった日本企業開発支援株式会社が運営する起業家支援サイト「独立支援.net」と、当社のシステム事業における開発・運営・販売力との統合に事業シナジーが出始めており、本子会社化においても同様の効果を期待しております。

2. 株式取得の方法

当社はビューティーHDならびにベストリザーブの株式を保有するe-まちタウン株式会社（以下「e-まちタウン」）との間で株式譲渡契約を締結し、同社が保有するビューティーHDならびにベストリザーブの株式を現金にて取得する予定です。なお、本件株式取得資金につきましては、e-まちタウンからの借入金にて行う予定です。

3. 子会社となる会社の概要

(平成 25 年 3 月 28 日現在)

(1) 商号	株式会社ビューティーホールディングス			
(2) 代表者	代表取締役社長 縣 将貴			
(3) 本店所在地	東京都豊島区南池袋 3 丁目 13 番 5 号			
(4) 設立年月日	平成 20 年 9 月 5 日			
(5) 主な事業の内容	インターネットを活用したビューティー関連事業			
(6) 資本金	209 百万円			
(7) 発行済株式数	24,502 株			
(8) 決算期	3 月末日			
(9) 大株主及び持株比率	氏名または名称			持株比率
	e-まちタウン株式会社			48.35%
(10) 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	当社取締役会長が、ビューティーHDの代表取締役社長を、当社代表取締役社長がビューティーHDの常務取締役を兼任しています。		
	取引関係	ビューティーHDとの間に、一部業務の業務委託基本契約を締結しています。		
	関連当事者への該当状況	当社と同一の親会社を持つ会社の子会社であり、関連当事者に該当します。		
(11) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態				
決算期	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期 (計画)
純資産	▲31 百万円	▲82 百万円	128 百万円	—
総資産	435 百万円	255 百万円	209 百万円	—
1 株当たり純資産 (円)	▲1,897.58 円	▲3,924.51 円	5,253.06 円	—
売上高	253 百万円	404 百万円	341 百万円	326 百万円
営業利益又は営業損失 (▲)	▲484 百万円	▲181 百万円	▲24 百万円	11 百万円
経常損失(▲)	▲493 百万円	▲199 百万円	▲20 百万円	—
当期純損失(▲)	▲573 百万円	▲358 百万円	▲21 百万円	—
1 株当たり当期純利益又は損失(▲) (円)	▲45,008.32 円	▲17,270.98 円	▲1,039.91 円	—

(平成 25 年 3 月 28 日現在)

(1) 商号	株式会社ベストリザーブ		
(2) 代表者	代表取締役社長 真玉 寿人		
(3) 本店所在地	大阪府大阪市中央区南本町 4 丁目 2 番 21 号		
(4) 設立年月日	平成 18 年 4 月 7 日		
(5) 主な事業の内容	宿泊予約サイト「ベストリザーブ・宿ぷらざ」の運営・管理		
(6) 資本金	351 百万円		
(7) 発行済株式数	1,840 株		
(8) 決算期	3 月末日		
(9) 大株主及び持株比率	氏名または名称		持株比率
	e-まちタウン株式会社		95.00%

	株式会社オリエンタルエージェンシー	5.00%		
(10) 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	当社常務取締役が、ベストリザーブの代表取締役社長を兼任しています。		
	取引関係	ベストリザーブとの間に、当社商材の代理店基本契約を締結しています。		
	関連当事者への該当状況	当社と同一の親会社を持つ会社の子会社であり、関連当事者に該当します。		
(11) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
決算期	平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期(計画)
純資産	67百万円	80百万円	71百万円	—
総資産	120百万円	123百万円	124百万円	—
1株当たり純資産(円)	36,671.72円	43,515.04円	38,577.60円	—
売上高	137百万円	300百万円	272百万円	345百万円
営業利益又は損失(▲)	▲10百万円	13百万円	▲8百万円	9百万円
経常利益又は損失(▲)	▲10百万円	13百万円	▲8百万円	
当期純利益又は損失(▲)	▲55百万円	12百万円	▲8百万円	
1株当たり当期純利益又は損失(▲)(円)	▲30,018.75円	6,843.32円	▲4,884.62円	

4. 株式取得の相手先の概要

(平成25年3月28日現在)

(1) 商号	eーまちタウン株式会社	
(2) 代表者	代表取締役社長 縣 将貴	
(3) 本店所在地	東京都豊島区南池袋3丁目13番5号	
(4) 設立年月日	平成7年10月16日	
(5) 主な事業の内容	インターネットメディア事業、広告代理事業、ソリューション事業	
(6) 資本金	100百万円	
(7) 連結純資産(平成24年3月期)	6,805百万円	
(8) 連結総資産(平成24年3月期)	8,661百万円	
(9) 大株主及び持株比率	氏名または名称	持株比率
	株式会社光通信	100.00%
(10) 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社取締役会長が、eーまちタウンの代表取締役社長を兼務しております。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	当社と同一の親会社をもつ会社であり、関連当事者に該当します。

5. 当社が取得する株式数、行使価額および取得前後の所有株式の状況

株式会社ビューティーホールディングス

(1) 異動前の所有株式数	0株
---------------	----

(2) 取得株式数	11,846株（取得価格：61百万円）
(3) 異動後の所有株式数	11,846株

※なお、当社は、その公正性および妥当性を確保するため、当社ならびにe-まちタウンの双方が利害関係を有しない第三者機関に株式価値の算定を依頼し、ビューティーHDの純資産を基に評価された算定結果を加味したうえで、当社とe-まちタウンが協議し、取得価額を決定いたしました。

株式会社ベストリザーブ

(1) 異動前の所有株式数	0株
(2) 取得株式数	1,748株（取得価格：109百万円）
(3) 異動後の所有株式数	1,748株

※なお、当社は、その公正性および妥当性を確保するため、当社ならびにe-まちタウンの双方が利害関係を有しない第三者機関に株式価値の算定を依頼し、ベストリザーブの純資産ならびに来期以降の業績予想を基に評価された算定結果を加味したうえで、当社とe-まちタウンが協議し、取得価額を決定いたしました。

6. 異動（株式取得）の日程

取締役会決議	： 平成25年3月29日
契約締結日	： 平成25年3月29日
株式譲渡実行日	： 平成25年4月1日

7. 今後の見通し

現段階においては、本子会社の異動に伴う平成25年3月期連結業績への影響はございません。また、来期以降の見通しに関しましては現時点では未定であり、確定次第公表いたします。

8. 支配株主との取引等に関する事項

本取引は、当社と同一の親会社を持つ会社との取引であり、支配株主との取引等に該当します。当社の平成24年11月30日付開示のコーポレート・ガバナンスに関する報告書の「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」に記載のとおり、当社は親会社及び親会社の企業グループにおいて明確な事業領域の棲み分けがなされていることから、親会社等から当社の自由な事業活動を阻害される状況にはございません。また、当該取締役会には、独立した立場にある社外取締役1名及び社外監査役3名（うち1名は独立役員）が出席しており、本取引の意思決定が適正に行われていることを確認しており、e-まちタウンの代表取締役社長を兼務している当社取締役会長縣将貴氏は、当社における意思決定の公正性を担保し、利益相反を回避する観点から、本株式取得に係る当社の取締役会の審議及び決議に参加していません。

さらに、独立役員である社外取締役西本優晴氏より、取引の目的、交渉過程の手続き及び対価の算定方法は公正妥当であり、本取引によって、当該会社とのシナジー効果による当社企業価値の向上も認められることから、本取引は少数株主の利益に反する取引には当たらない旨のご意見を下記の通り頂戴しております。「本子会社化の目的の正当性及び企業価値の向上に有効か否かについては、USシステムズではスマートフォン・タブレット端末を活用したサービスの開発・販売を行っており、本子会社化によって、今後USシステムズが保有する同サービスのノウハウをBR(ベストリザーブ)ならびにBHD(ビューティーHD)において活かすことができるとともに、USシステムズにおいてもスマートフォン・タブレット端末を活用したソリューションサービスのノウハウをホテル業界や美容業界という新たな事業領域にて活かすことが可能になると考える。よって、本子会社化を実施とすることは正当性があり、かつ、USシステムズの企業価値を向上させる上で有効であると判断する。本子会社化における株式譲受価格の公正性においては、株式譲受価格を、BR(ベストリザーブ)から提出された直近の純資産額および業績の動向、ならびにBHD(ビューティーHD)から提出された直近の純資産額を基に算定しており、その内容を確認した結果、当該算定は公正なものと認められる。

本子会社化のための資金調達の公正性においては、USシステムズは、現在手持ちの資金に余裕がないため資金調達の必要があるが、現在の財務状況においては、USシステムズの親会社である光通信又はその子会社であ

る e-まちタウンからの借入れが最も迅速かつ低コストな資金調達方法であると認められる。USシステムズは、従前より e-まちタウンの親会社である光通信から資金の借入れを行なっているが、今回の借入れ条件も従前と同等の内容であり、不利益なものではない。

本子会社化に係る手続きの適正性及び公正性においては、US システムズがBR(ベストリザーブ)に関しては純資産法ならびにDCF法を、BHD(ビューティーHD)に関しては純資産法を基に公正に算定した価額で株式の譲渡を受けることを e-まちタウンと合意していること、及び会社法に定める手続きに則り本子会社化が行なわれることを確認しており、本子会社化に係る手続きの適正性及び公正性を疑われる点は特に認められないと判断する。

以上のとおり、本子会社化の目的の正当性、US システムズの企業価値向上、本子会社化における株式譲受価格の公正性、本子会社化に係る交渉過程の手続き等を検討した結果、本子会社化に関する US システムズの決定が US システムズの少数株主にとって不利益なものではないと判断する。」

以 上